

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成21年6月2日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

その他 : 9 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	タービン建屋換気空調系のダクト点検時、復水脱塩塔(D)前室のダクト排気口に破損が認められたため、当該排気口を補修。	D	
2	1号機	コントロール建屋換気空調系のダクト点検時、バッテリー室上部給気ダクトの保温材に破損が認められたため、当該保温材を補修。	D	
3	3号機	工具管理センターのシリンダーゲージ校正時、1台に判定値外れが認められたため、当該シリンダーゲージを補修後、再校正、及び使用機器への影響評価。	D	
4	3号機	建屋内冷房装置冷凍機(B)空冷コンデサーファン(#4)点検時、ファンが軸に固着し分解出来ないため、対応検討。	D	
5	3号機	炉心性能計算機操作時、操作端末機の表示画面がフリーズしたため、表示画面用プログラムを再起動。なお、炉心性能計算機能には影響なし。	対象外	
6	3号機	復水ろ過装置の樹脂再生操作中、樹脂計量器に照明設備交換の作業員が誤って接触し、重量異常により再生が停止したため、再度、再生操作。	D	
7	4号機	原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(C)点検に伴う排水作業時、水室入口弁にシートリークが認められたため、当該弁を補修。	D	
8	4号機	原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(C)点検に伴う排水作業時、水室入口弁バイパス弁にシートリークが認められたため、当該弁を補修。	D	
9	4号機	非常用ディーゼル発電設備用燃料油移送ポンプ(B,H)が設置されている堰の雨水排水弁の開操作時、弁棒が折損したため、当該弁を交換。	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉の停止 ・発電所外への放射性物質の漏えい ・非常用炉心冷却系の作動 ・火災の発生 など
区分	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のうち、法律に基づく報告事象に該当しない軽度な場合 <ul style="list-style-type: none"> * 安全上重要な機器等の機能に支障を及ぼすおそれのある故障 * 管理区域内の放射性物質の漏えいが継続している場合 など ・原子炉への異物の混入 など
区分	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点から速やかに詳細を公表する事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化 ・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障 ・原子力発電設備に係わる機器に影響を及ぼす水の漏えい ・圧力抑制室等への異物の混入 ・原子力発電設備に係る業務における人の障害 など
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> ・日常小修理 など

【原子力発電所における不適合事象の是正管理】

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講じることとしております。

* 「不適合の定義」(JEAG4101-2000より)

本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)

不適合管理グレード分け(不適合管理委員会にて決定)

- A5 : 法令、安全協定に基づく報告事象
- : プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A : 国、地方自治体等へ大きな影響を与える事象
- : 定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B : 国の検査等で指摘を受けた事象
- : 運転監視の強化が必要な事象
- C : 品質保証の要求事項に対する軽微な事象
- D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

(お問い合わせ)

福島第二原子力発電所・広報部・企画広報グループ
電話 0240-25-1353